

書名
著者名
発行所
発行年

内容紹介

ここに記入してください。

写真などを添付してください。

第●章 章のタイトルを記入してください。

） 節のタイトルを記入してください。 ）

ここに記入してください。

キヤッチコピーを記入してください。

書名 教育激変

著者名 池上彰・佐藤優

発行所 中央公論新社

発行年 二〇一九年

内容紹介

二〇二〇年度、教育現場には「新学習指導要領」が導入され、新たな「大学入学共通テスト」の実施が始まる。なぜいま、教育は大改革を迫られるのか。

日本が危機的状況から脱出するためには教育の強化が最も必要だ、と語る二人の対談から、日本の教育の問題点と新たな教育改革の意味が解き明かされる！

第五章 揺らぐ知の基盤 大学をどうする

私大は入試の「作問力」で勝負を始めた

早稲田大学の文化構想学部の入試問題は、近代文語文、つまり江戸末期から明治時代の文語文が出題されている。一橋と上智大学も同様である。

早慶や同志社・関学といった私立大学が、単純に東大や京大の「滑り止め」にできなくなっている。私大側が、そこを第一志望にして独自の勉強をしないと受からないような問題を、受験生に課しているのだ。これらの大学がなぜ、そういう入試をするのか。それは、「特別の勉強をしてこの大学に入りたい」という「第一志望の学生」を集めるための入試戦略だからである。

第一志望の学生を集めることは、日本の教育界に巣食う意味のない大学のヒエラルキーを打破する意義が明確で、まず、大学の側が、そこで学びたい学生を探り「ここに来てよかった」と思わせる、そういった実践を広げていくことが必要だ。



偏差値ではなく、目的意識を重視する時代へ